

## 災害廃棄物仮置場設置運営訓練の開催結果

### 1. 日時

1 日目：令和 7 年 10 月 8 日（水） 10:00～16:15

2 日目：令和 7 年 10 月 9 日（木） 10:00～12:00

### 2. 開催場所

1 日目午前（ワークショップ 1）：鴨池公民館（鹿児島市鴨池 2 丁目 32-6）

1 日目午後（屋外訓練）：鹿児島市民文化ホール（川商ホール）駐車場  
（鹿児島市与次郎 2 丁目 3-1）

2 日目午前（ワークショップ 2）：鴨池公民館（鹿児島市鴨池 2 丁目 32-6）

### 3. プログラム

下表のとおり。

#### 【1 日目（10 月 8 日（水））午前】

会場	時間	内容
鴨池公民館	9:30～10:00	受付
	10:00～10:05	開会
	10:05～10:20	ワークショップ 1 のガイダンス
	10:20～10:25	各班内にて自己紹介
	10:25～10:30	ワークショップ 1-A の説明
	10:30～11:10	【ワークショップ 1-A】 仮置場の設置計画作成（レイアウト図の作成）
	11:10～11:20	【ワークショップ 1-A】 各班でレイアウト図を 1 案に集約
	11:20～11:25	ワークショップ 1-B の説明
	11:25～11:35	【ワークショップ 1-B】 仮置場の設置計画作成（役割別の人員配置案の作成）
	11:35～11:45	検討したレイアウトの発表（班ごとに発表）
	11:45～11:50	産業資源循環協会によるコメント
	11:50～12:00	午後の屋外訓練の案内
	12:00～13:00	昼休憩

【1日目（10月8日（水））午後】

会場	時間	内容
鹿児島市民文化ホール（川商ホール） 駐車場	13:00～13:15	屋外訓練会場（川商ホール駐車場）へ移動
	13:15～13:30	屋外訓練①の説明
	13:30～14:30	【屋外訓練①】 仮置場の設置
	14:30～14:40	休憩
	14:40～14:50	屋外訓練②の説明
	14:50～16:10	【屋外訓練②】 仮置場受入対応（1班あたり計6台対応・途中休憩含む）
	16:10～16:15	閉会

【2日目（10月9日（木））午前】

会場	時間	内容
鴨池公民館	9:30～10:00	受付
	10:00～10:05	開会
	10:05～10:25	ワークショップ2のガイダンス
	10:25～11:15	【ワークショップ2】 前日のワークショップ1、屋外訓練の振り返り
	11:15～11:35	振り返り結果の発表（班ごとに発表）
	11:35～11:50	有識者・産業資源循環協会による講評
	11:50～11:55	全体総括
	11:55～12:00	閉会

#### 4. 出席者

下表のとおり。なお、訓練は2班に分かれて行った。

No.	組織の種類	組織名	部(局)	課(室)等	参加人数
1	自治体 (県)	福岡県	環境部	廃棄物対策課	3名
2		佐賀県	県民環境部	循環型社会推進課	1名
3		大分県	生活環境部	循環社会推進課	1名
4		宮崎県	環境森林部	循環社会推進課	1名
5		鹿児島県	環境林務部	廃棄物・リサイクル対策課	1名(1名)
6		沖縄県	環境部	環境整備課	1名
7	自治体 (市)	北九州市	環境局 循環社会推進部	循環社会推進課	1名
8		福岡市	環境局 循環型社会推進部	計画課	1名
9		久留米市	環境部	資源循環推進課	1名
10		長崎市	環境部	資源循環課	1名
11		熊本市	環境局 資源循環部	廃棄物計画課	1名
12		大分市	環境部	ごみ減量推進課	1名
13		宮崎市	環境部	環境政策課 環境指導課	1名 1名
14		鹿児島市	環境局 資源循環部	資源政策課 廃棄物指導課 清掃事務所	5名 3名 4名
15		那覇市	環境部	環境政策課	1名
16	民間団体	公益社団法人 全国産業資源循環連合会 九州地域協議会			(1名)
17		一般社団法人 長崎県産業資源循環協会			(1名)
18		一般社団法人 宮崎県産業資源循環協会			(3名)
19		一般社団法人 鹿児島県産業資源循環協会			5名(4名)
20	有識者	一般財団法人 九州環境管理協会 島岡理事長			(1名)
21		名古屋大学 減災連携研究センター 平山准教授			(1名)
22	国の機関	環境省	九州地方環境事務所	資源循環課	2名(1名)
23	事務局	一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局			7名

※カッコ内の参加人数は、オブザーバ・見学者としての参加。事務局は運営としての参加。

#### 【班構成】

A 班	B 班
福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県、 福岡市、熊本市、宮崎市、鹿児島市 7名、那覇市、 (一社) 鹿児島県産業資源循環協会 2名 サポート：九州地方環境事務所、 日本環境衛生センター	福岡県 2名、沖縄県、北九州市、久留米市、 長崎市、大分市、宮崎市、鹿児島市 5名、 (一社) 鹿児島県産業資源循環協会 3名 サポート：九州地方環境事務所、 日本環境衛生センター

## 5. 開催概要

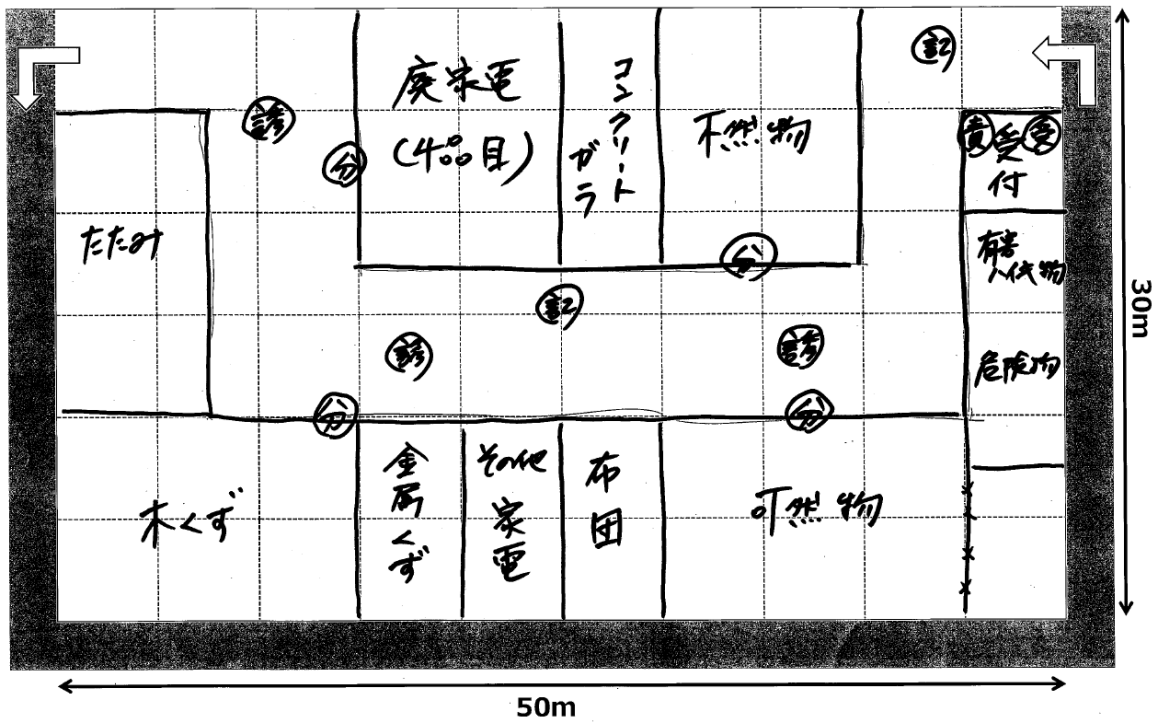
### (1) ワークショップ1

#### ① 仮置場の設置計画作成

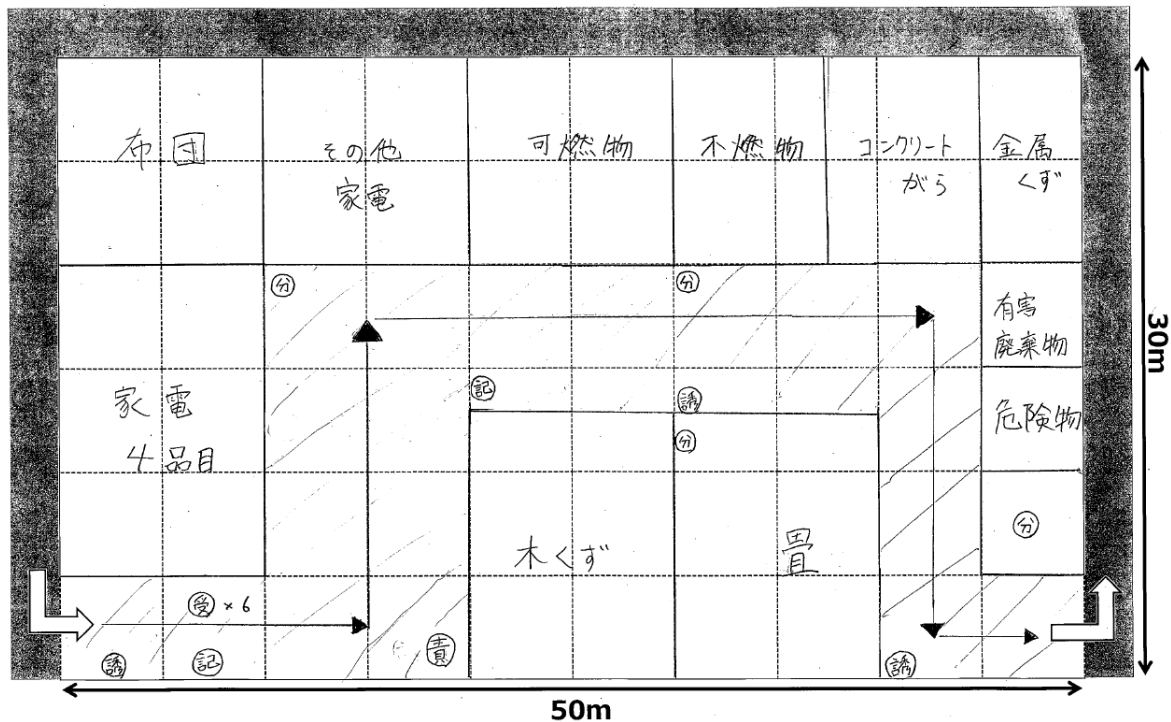
水害の発生に伴い、鹿児島市が設置した仮置場に、住民が片付けごみを持ち込む想定のもと、各班でワークシート1に設置計画を作成した。

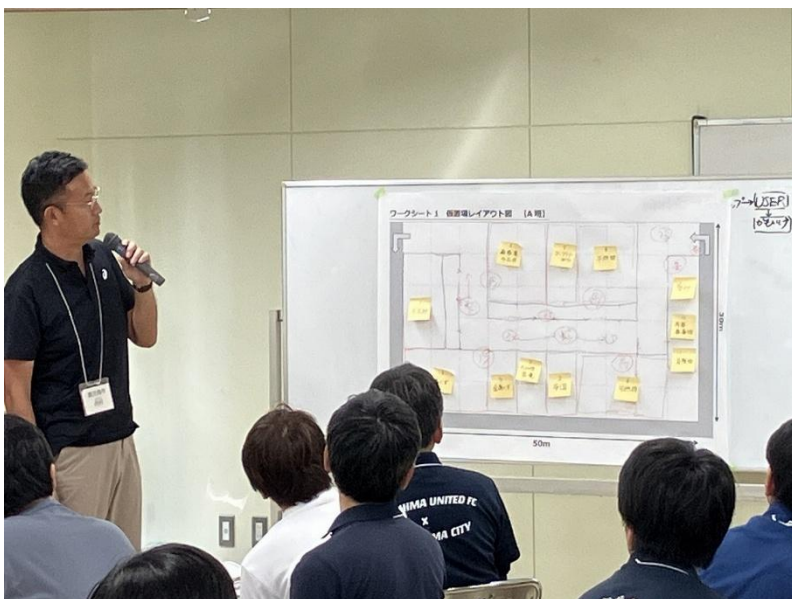
また、仮置場での対応にあたり、役割ごとの職員の配置場所を検討し、ワークシート1に記入した。

#### 【A班成果：ワークシート1】



#### 【B班成果：ワークシート1】





ワークショップ1の様子

(2) 仮置場設置運営訓練

① 仮置場の設置

会場に準備した資機材（下表参照）と、午前中のワークショップ1で作成したレイアウト図を用いて、各班にて仮置場を設営した。



会場内平面図と仮置場設置エリア

仮置場設営時に使用した資機材

品目	用途	1班当たり数量 (目安)
テント	受付に設置	1
長机	〃	2
プラスチック椅子	〃	2
カラーコーン（ウェイト付）	仮置場内の仕切り・看板用	～40
PP ロープ	仮置場内の仕切り（カラーコーン同士を繋ぐ）	—
矢印板	仮置場設営用（動線指示）	～4
コピー用紙	看板への品目記載用	～30
マジックペン	〃	4
ハサミ	PP ロープ等の切断用	2
巻き尺	仮置場設営時の距離計測用	2
ガムテープ又は養生テープ	仮置場設営用（テープ固定、紙の貼付など）	—
台車	仮置場設営時の資機材運搬用	2



仮置場設置の様子

## ②仮置場の受入対応

仮置場内で「責任者」、「受付役」、「誘導役」、「分別指導役」、「記録役」と役割分担し、1つの仮置場（1班）あたり、計5台の搬入車両の受入対応を行った（本来は各班6台ずつ受入対応を行う予定だったが、5台目まで受入対応を行った時点で急に強い雨が降ったため、6台目の対応は中止した）。各役割は、搬入車両2台ごとに交代し、参加者がそれぞれ複数の役割を担えるようにした。また、仮置場へ片付けごみを搬入しに来た「住民役」も参加者の中から割り当てた。

### 【A班】

No.	団体名	1クール目		2クール目		3クール目	
		1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目
1	福岡県	住民	見学	受付		誘導	
2	佐賀県		受付	見学	住民	記録	
3	大分県	分別指導		記録		受付	
4	宮崎県	受付		分別指導		誘導	
5	鹿児島県	記録		受付		誘導	
6	福岡市	受付		誘導		分別指導	
7	熊本市	誘導		受付		分別指導	
8	宮崎市	受付		分別指導	見学	住民	
9	鹿児島市	責任者		受付	住民	見学	
10	鹿児島市	誘導		記録		受付	
11	鹿児島市	記録		責任者		受付	
12	鹿児島市	受付		分別指導		記録	
13	鹿児島市	誘導		受付		分別指導	
14	鹿児島市	受付	住民	見学		責任者	
15	鹿児島市	分別指導		誘導		受付	
16	那覇市	見学	住民	誘導		受付	
17	一般社団法人 鹿児島県産業資源循環協会	分別指導		分別指導		受付	
18	一般社団法人 鹿児島県産業資源循環協会	分別指導		受付		分別指導	
19	環境省	オブザーバ					
20	(一財)日本環境衛生センター	オブザーバ					

### 【B班】

No.	団体名	1クール目		2クール目		3クール目	
		1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目
1	福岡県	住民	見学	受付		分別指導	
2	福岡県		受付		記録		分別指導
3	沖縄県	受付		分別指導		見学	住民
4	北九州市	誘導		受付			記録
5	久留米市	受付		誘導		住民	見学
6	長崎市		記録	住民	見学		受付
7	大分市	分別指導		誘導			受付
8	宮崎市	分別指導		誘導			受付
9	鹿児島市	責任者		受付			誘導
10	鹿児島市	見学	住民	受付		責任者	
11	鹿児島市	記録		受付			誘導
12	鹿児島市	受付		責任者			誘導
13	鹿児島市	受付		分別指導		記録	
14	一般社団法人 鹿児島県産業資源循環協会	分別指導	見学	住民		受付	
15	一般社団法人 鹿児島県産業資源循環協会	誘導		受付		分別指導	
16	一般社団法人 鹿児島県産業資源循環協会	誘導		分別指導		受付	
17	環境省	オブザーバ					
18	(一財)日本環境衛生センター	オブザーバ					

### 【基本的なごみの分別品目（鹿児島市災害廃棄物処理計画より）】

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| (1) 畳           | (2) 布団          |
| (3) 木くず         | (4) 金属くず        |
| (5) コンクリートがら    | (6) 廃家電（4品目）    |
| (7) その他家電       | (8) 可燃物（可燃系混合物） |
| (9) 不燃物（不燃系混合物） | (10) 有害廃棄物      |
| (11) 危険物        |                 |

### 【住民役に設定した、イレギュラーな役割や行動の一例】

- ・ 鹿児島市の被災住民でない者の持ち込み（代理（ボランティアや親戚）、事業者、市外の被災住民）
- ・ 対象外の品目の持ち込み（生活ごみ、危険物、便乗ごみ、産廃など）
- ・ 対象外の品目を持ち帰るように指導を受けた際の抵抗
- ・ 荷下ろしを自ら行わない（場内の職員に全て任せようとする）
- ・ 待たされたことに対する不満（苦情）を言って受付に素直に応じない
- ・ 積み下ろし場所を間違える
- ・ 搬入者の身元や対象外の品目の持ち込みに関する偽証



仮置場受入対応の様子

(3) ワークショップ 2

① ワークショップ 1、屋外訓練の振り返り

各班において、前日午前中の訓練（ワークショップ 1）及び屋外訓練の振り返りを行った結果をワークシート 2 にとりまとめた。

【A-1 班成果：ワークシート 2】

1. 検討した仮置場のレイアウトについて

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
スペースをうまく使用し、スムーズに荷下ろしができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通路幅が狭かった</li> <li>荷下ろし場の間口が狭かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通路幅が広すぎても、車両が交差する危険がある</li> <li>デッドスペースが多いようなレイアウト作り</li> </ul>

2. 仮置場の設営について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
責任者が着払い指示を明確に作業が出来た	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付に置場の取図(案内図)</li> <li>品目にイラストを表示、及び品物名を表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 訓練用ロープの色付けはいた方がよい。</li> </ul>

3. 仮置場内での役割分担について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
持ち帰る品目と、当初は案内にアナウンス（ないながらも、分別指示者が戸惑っていることから、持ち帰り品の品物のアナウンスを付け加えた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導と分別指示の役割分担が不明確であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録係の文字情報などのマニュアルが必要</li> <li>各役割者毎にマニュアルを作成</li> </ul>
	アナウンスの音が小さい、テコボが悪かった。	

4. 仮置場での受付対応について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
家電品目を種類ごとに分別して置いたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民と一緒に、荷の確認をしなかった。(下車はいい)</li> <li>冷蔵庫の中身の確認をしなかった。</li> <li>NG品目の指示不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付時に搬入先の案内図を渡し、その案内図に、荷下ろす品目を示しておく</li> </ul>
	持ち帰り	

## 【A-2 班成果：ワークシート2】

### 1. 検討した仮置場のレイアウトについて

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
① 色はば 9.5 m		① ラインの向きにおよび、入りの角を曲がり角としていたが、なだらかな曲線にした方が受けやすかったのでは。 ② 看板の印字はコンでは輸入、印刷にまかす。
① 麻葉物の置之位置		① 受付の位置（運搬待合）（右側）に置いたほうがよいのでは。
		① 置き場の面積、Dの取り。 ② 追加に奥に置くのは2年幅を広くとるのでは。
		① 当日の品出し以外にも、種類を出すので、その置き場の広さが必要。

### 2. 仮置場の設営について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
① 床印の看板位置は運搬待合に見せかけ、位置に置いたのでは。	① 測定し区切ったが、面積差の取りでアウトで良いのでは。	① <del>品物</del> 品物名書いたコンを事前に置く、そこを置いて、奥に置くのがいい。 ② 隠れたい、持ち込みの方が見えづらい。
		① 区切るヒモ、上が下が、見せかけるため、ビニールテープの印が気になるのでは。 ② 看板の持ち込みも考える。
		① 置く区切りは、測定の区切りと測定の区切りを合わせる。

### 3. 仮置場内での役割分担について

その他、気付いた点
① 実際 2.3台と乗車して、1人1台の間に誘導してあげる。入り口がコンで位置ではなし。実際は1人1台は2人分が難しい。
① 麻葉物も、番号をふって、その番号を看板に貼る。 ② 受付、説明の箇所も並べて設置する。
① この中では、3.4人の配置が（実際は）② 受付、記入、並べた後、戻って並ぶのを待つ。
① 荷物を持ち帰り。 ② 実際、持ち込み、補給品で来る人が多く、看板の下で待つことが多い。→ 違う所に置くこと。
① 人が少ないと無意味な場所になりやすい。場面がエエ、要するところ。

### 4. 仮置場での受付対応について

うまくできなかった点	その他、気付いた点
① スピーク音量（受付）は小さかった。	① A、Bと利用者が異なる。きびんとした対応。7大専が、お経程度で受付はいいから、おきかたの提案はいいから。（専業主婦）
	① 不適切な処理してはいる可能性も。 ② 入力量も。 ③ 入力に時間がかからないのは、手前記入、見せかけ。
	① 記録、台帳。（計器、台帳は難しい） ② 二次記録はあっても、 ③ 対応問題：持ち帰りのこと、対象地区外の持ち込みは、 ④ 混雑。
	① 月曜、どうしてここに出るのかを知りたい。 ② 想定しないものも出る（3歳、ボンベ）の受け入れ（地震時）
	① 受付の受付、手前記入。

## 【B-1 班成果：ワークシート2】

### 1. 仮置場のレイアウトについて

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
① 動線を広くとっていた。 (家電4品目)	① 曲がり角にある品目の搬入口が狭くなってしまった。	① 周回のできる動線を作った方がスムーズにいそろ。 (出入口を同じにする)
① 「その他家電」と「家電4品目」が離れたことで、分かりやすい配置になった。		① 水置口、土砂捨場を確保した方がよい。

### 2. 仮置場の設営について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
① 外側のポイントから決めていくことで、スムーズにできた。	① レイアウトの方向を共有できておらず、ポイントも置いたりロープも張ったりする際に若干、混乱した。	① ポイントのコーンと看板のコーンの色を変えて、分かりやすくする。
① 通行する道に、テープで止まれや進行方向を表示した。		看板もできるだけ大きく標示をする。

### 3. 仮置場内での役割分担について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
① 受付に時間がかかるので、受付係の人が多くて良かった。トラブル防止にもなる。		① 複数品目ある場合は、1か所目に案内してくれる人がいた方がよい。(人手が足りていれば……)
		① 入口でレイアウト図を渡して説明をすると分かりやすい。→ 出口で回収

### 4. 仮置場での受付対応について

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
① 地区外や対象外のものはしっかりと断ることで良かった。	① 地区外の受付に迷った。基準を事前に決めておけばよかった。リスト作成	① 「品目」ではなく、番号を付けて、市民には「〇番に下りして」と案内する。受付で紙をわたす。
	① 持ち帰るゴミの袋は1回だけでなく、複数回するべきだった。忘れることを防ぐ。	① ハンドマイクなど情報が届かない可能性もあるため、トランシーバーの方が良いかも。

## 【B-2 班成果：ワークシート2】

### 1. 仮置場のレイアウトについて

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
<ul style="list-style-type: none"> <li>一歩通行等、距離の確保ができた</li> <li>各置場の扉をイタ石確保することができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>布団の入口を確保できていなかった。(談話時終了)</li> <li>品目と本数が不明</li> <li>木等、可燃物は高く積上げられ、全体の目視が難しくなる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウトを定めることができたが、差出人の人数が不明</li> <li>可燃物の入庫は火災時、緊急車両の進入を妨げない。避難例の教訓を参考に、注意を要する</li> </ul>	

### 2. 仮置場の設営について

B-2

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
<p>全体図を各自がしっかりとあしきいた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>区分を番号で分けると良い。</li> <li>遠くから見てもわかる大きな看板があると良い。</li> <li>看板を置く場所も搬入のしやすさにより異なる。</li> </ul>

### 3. 仮置場内での役割分担について

B-2

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
		<ul style="list-style-type: none"> <li>案件から全体の情報伝達について、メガホンではなく、トランシーバーやインカムが欲しい。</li> </ul>
		<p>誘導班は搬入物の知識が無い人でもいいのでは？ 受付は知識がある人が良い。</p>

### 4. 仮置場での受付対応について

B-2

室内

良くできた点	うまくできなかった点	その他、気付いた点
<ul style="list-style-type: none"> <li>受付とニセの受付が分かれた</li> <li>→実際の被害者はトランシーバーで呼びかけ、不要投棄に注意を促す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>受付とニセは、搬入場所と書いた紙と搬入者リストを渡す。搬入者リストは、(トランシーバーで呼びかけ)</li> <li>→ 青いテープで区別を付ける。</li> </ul>
		<p>仮置場の受付リストと搬入者リストを渡して待つ。受付時には、搬入者リストと現物を照合する。搬入者リストは、受付時に渡す。搬入者リストは、受付時に渡す。</p>
		<p>搬入者人数が実施可能な限り、多くの搬入者により対応可能な。誘導班が対応可能。</p> <p>→ 受付でうまくいけば、</p>
		<p>単一で持って来たものにメガホンが足りない。運営 → 広報で仮置場にメガホンを渡す。</p>



ワークショップ2の様子

## 6. 事後アンケート

### (1) アンケート回答割合

	対象者数（組織・人数）	回答者数	回答割合
A 班プレーヤー	11 組織・18 名	14 名	78%
B 班プレーヤー	9 組織・16 名	12 名	75%
オブザーバ・見学	7 組織・12 名	2 名	17%

### (2) アンケート結果

①開催形式について（1 日目午前：屋内ワークショップ形式／1 日目午後：屋外実践形式、2 日目午前：屋内ワークショップ形式）

この開催形式でよかった	: 92.3%
ワークショップ形式のみがよかった	: 0.0%
ワークショップ形式のみがよかった	: 0.0%
その他	: 7.7%

- ・1 日目ワークショップ、2 日目午前屋外での実践形式、午後ワークショップの形式がよかった。
- ・初日の午前を移動時間、午後から開始にしていきたい。2 日目に実地と振り返りをその場で行った方がよいかと思いました。

②プログラムの長さについて（1 日目：昼休みを除いて約 5 時間、2 日目：約 2 時間、合計約 7 時間）

ちょうどよい	: 96.2%
長すぎる	: 0.0%
短すぎる	: 3.8%

③ワークショップ 1（1 日目午前）及び 2（2 日目午前）のカリキュラムや事務局の運営対応についてのご意見

#### 【プレーヤー参加者のご意見】

- ワークショップの時間配分や人数がちょうどよかったです。特に産資協の方がプレーヤーとして入っていたため、経験・知見に基づいたアドバイスを頂けたのが非常に学びとなりました。
- ワークショップ 1 の仮置場レイアウト時に助言を頂けるのは有り難いが、その助言で混乱し、時間内で意見がまとまらなかった。
- 仮置場の設置は、みんなで一緒に考えられてよかったです。ただ、仮置場の広さが狭かったと感じました。また、自治体の職員が受付、誘導、分別指導のすべてに対応することは、出来ないと思います。
- 1 日目は、午前、午後ともワークショップにし、もう少し話し合う時間があればよかったと思った。
- ワークショップ時の休憩時間を設けてほしかった。
- 実地での対応経験がないので、事務局の方のアドバイスがありがたかった。その反面、事務局の方のアドバイスに頼りきりになってしまい、ワークショップというより事務局の方への質問タイムのようになってしまった。
- 書記をしている人が用紙に記入することに時間を取られ、なかなか話し合いに参加できていなか

ったので、役割は回した方がいいと感じた。

- 全体を通して学ぶことも多く大変有意義な研修でした。
- ワークショップ中の補助や詳細説明等が多く、助かった。
- 考える機会をいただけて有難かった。
- 産資協会の方々は、現場での経験をもとに色々な話をしていただけて参考になったと思います。自治体側の理想論だけでは現場では対応できないケースなど、産資協さんからお話いただく時間などがあってもよいかと思いました。
- 仮置場の配置図や違反が疑われる廃棄物搬入の可否など、ケースバイケースで正解がないとは思いますが、今後の参考とするため、モデルケースの回答があれば大変助かります。

#### 【オブザーバ・見学者のご意見】

- 準備周到で、良かったと思います。
- 班名の A-1、A-2、B-1、B-2 とワークショップ名の 1-A、1-B が混同されやすく、改善が必要です。
- 会場が手狭だったため、スライドが隠れて見えなかった。
- レイアウトを考える際の基本的要件について、詳しい説明が欲しかった。
- 図上では、重機等の配置も欲しかった。

#### ④屋外訓練（1日目午後）のカリキュラムや事務局の運営対応についてのご意見

##### 【プレーヤー参加者のご意見】

- ワークショップで作ったものを、現場で説明してみると想像よりも狭かったり、受付の位置に工夫が必要だったり気付くことが多かったです。また、天候への対応という点でテントの重要性も感じました。
- 1クールごとにネタばらしあり、訓練中にいろいろと注意することができてよかったです。
- 資機材の準備が最初からなされており、スムーズにカリキュラムに入れた。
- 暑さ対策があったらよかった。冷たい水等を準備するとか。
- 自治体も市町村の参加も出来たらいいと思います。
- ビニールテープを白ではなく、目立つ色やトラロープなどにすればもっと区割りが分かりやすくなると思った。
- 屋外訓練で冷蔵庫の中に生ごみを入れて搬入するケースがありましたが、訓練では段ボール箱を搬入したので気づきにくく、事前に軽く説明があればよかったですと思いました。
- 受付と住民の会話が聞こえにくいため、受付の勉強の意味も込めてマイクを渡してもいいと思った。
- 今回、受付で搬入品目等の確認を行いました。が、だいぶ時間がかかってしまったため、他の手法も検討ができないかと感じました。（例えば、搬入品目が記載された票は搬入者の持ち回り、受付では住所氏名等の聞き取りと一番近くの置き場を案内、案内された置き場の分別担当にて対象搬入品目をチェックし、次の近くの置き場を案内、最後に受付票は回収するなど）
- 搬入品目の確認について、現場で実際に採用している手法が他にもあれば、紹介していただいたり、比較検討してみるのも良いかと思いました。
- 持ち込み者への対応を行うための対応マニュアルの検討があつて、屋外訓練という流れがあつてもよいと思いました。

- ケーススタディとしてはとても有意義だと思いますが、1組に時間を割き過ぎている気がしました。もう少し設定を簡単にしてもよいのではと感じました。
- 設営については、午前中に役割分担などの打ち合わせができれば、もっとスムーズにできたのではないのでしょうか。
- インカム（トランシーバー）の使用はあったほうが良いように思いました。
- 情報伝達、伝言は重要です。近くに立ち寄らないと何をして、何を話し合っているのかが伝わらなかった。折角、拡声器を用意されていたにも関わらず、機能していなかった。

#### ⑤今後同様の訓練が開催される場合のご意見やご要望

##### 【プレーヤー参加者のご意見】

- 今回の経験を踏まえて、各県でも開催できるよう検討してまいります。
- 主催地のメンバーが多く、設定も主催地の状況を用いていた。これは開催地にとってのメリットでもあり、良いことと考えるが、一方で、主催地以外の参加者はなかなか意見を出しづらい状況となっているとも言える。当日閉会時に九州地方環境事務所からは「今後各都道府県主体での実施を」との発言があったが、少なくとも「仮置場の設置（レイアウトの検討や人の配置など）」については、主催地の考え方が強く出る上で他地域の視点には大きな価値はないと思われ、広域行政で行うことの価値がどうなのか、市町村主導でそこに国や県が関与する形の方が良いのではないかと感じた。一方で、「受付のシミュレーション」という点では、主催団体のみだと文化や思い込みの部分も生じやすいため、異なる団体での視点が混ざることには有意義と感じた。
- 非常に貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- 災害が発生した自治体の仮置場等を参考に見るといいと思います。
- A班、B班で出入り口の違う仮置場にするのも良いと思った。
- ホテルを自分で確保しないとイケないのか、用意してもらえるのかが分かりにくかった。
- 全体的に案内を早めにしてほしかった。前泊等で前日は職場にいないので、更新された情報のメールを確認することができなかった。
- 昼食の取れる会議室等があった方がよい。
- 産業資源循環協会の理事等に参加いただいたのは大変良かったと思います。可能であれば次回以降も今回と同様に複数名参加いただくと、災害対応の実践的な知見をさらに深められるかと思います。
- 開催地の自治体の仮置場予定箇所と同じサイズの場所で訓練してみたい。
- 今後同様の訓練が開催される場合は引き続き参加したい。
- 実践形式は非常に有意義な研修だと思いました。
- 同じ自治体から多くの職員が参加できると、より効果的なので、県単位での開催にするのは非常にいい案だと思います。
- 土砂置場の設定を考慮した方がよいと思いました。
- 二日目のワークショップで、短時間（30分程度）で構わないので、仮置場の基本・注意事項、good practice、事例紹介等についての話があってもいいかと思いました。